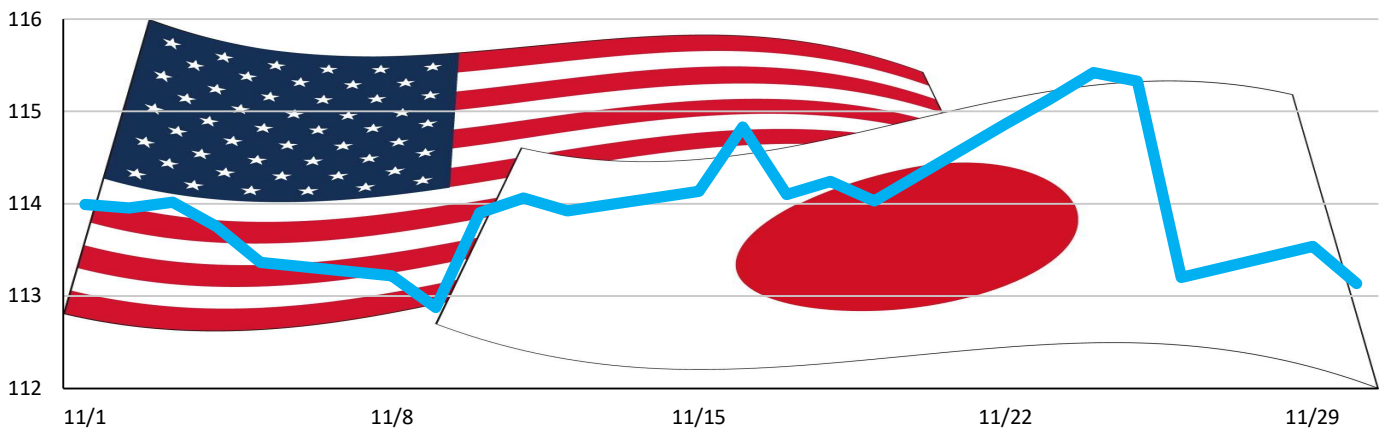


MARKET REVIEW

先月の振り返り：11月のドル円相場は112円半ば～115円半ばで推移。日本の衆議院議員総選挙で与党が安定多数を確保したことを好感しリスク選好の動きだったが、FOMCで利上げを急がない姿勢が示されたことで112円72銭まで円高が進行。その後、岸田政権が数十兆円規模の経済対策に前向きな発言や米国の各経済指標が良好だったことでドル買いが進み115円台が目前となったものの、ドイツで新型コロナ新規感染者が過去最大と報じられたことによるリスク回避の動きが広がり113円台半ばまで急落。ただ、パウエルFRB議長の続投が正式に決まると、利上げ前倒し観測を好感し再びドル高の流れが強くなり、4年8ヵ月ぶりの115円台をつけた。しかし南アフリカで新たな新型コロナ変異株（オミクロン株）が発見されたことでリスク回避の動きが広がり、112円台半ばまで急落するなど11月上昇分を帳消しにする荒い展開だった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：オミクロン株について感染力や死亡率、既存ワクチン効果など不明な点も多いためマーケットの不安材料となっている。中長期的に見ると米国利上げ期待感を背景にしたドル買いは継続していくとみられるが、オミクロン・ショックが長期化するかどうかを見極めようとしているため、ドル買いの重石となっている。しばらくの間は乱高下に対して細心の注意を払っておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

| 日付 | 時間 | 国 | 指標名 | 重要度 |
|-------------|---------|----|---------------|-------|
| 12 / 16 (木) | 21 : 00 | GB | 英中銀政策金利 | ☆☆☆☆ |
| 12 / 17 (金) | ** : ** | JP | 日銀金融政策決定会合 | ☆☆☆☆ |
| 12 / 22 (水) | 22 : 30 | US | 米GDP確定値 | ☆☆☆☆ |
| 12 / 24 (金) | 0 : 00 | US | 新築住宅販売件数 | ☆☆☆☆ |
| 1 / 7 (金) | 22 : 30 | US | 米雇用統計 | ☆☆☆☆☆ |
| 1 / 12 (水) | 22 : 30 | US | 消費者物価指数 (CPI) | ☆☆☆☆ |
| 1 / 14 (金) | 22 : 30 | US | 小売売上高 | ☆☆☆☆ |

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレザンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。